

中学1年生 おもしろ教室 英語④

ローマ字練習

(このページは、直接入力できません。そのまま見るか、印刷してつかってね!!)

英語①の英文練習はできましたか。ネットで「英語のパングラム」を検索すると、もっと多くの英文ができます。日本ではさしずめ「いろは歌」になるでしょう。

今回は、ローマ字を練習してみましよう。教科書やパソコンのローマ字入力表を見てください。多くは、横に **a i u e o** (あいうえお) の母音 たてに **k s t n h m y r w** の子音が並んでいます。パスポートなどではヘボン式が使われます。

そこで、し shi ち chi つ tsu ふ fu だけは組み合わせが違うことに気がつくと思います。

そこで、小文字の shi chi tsu fu と大文字で始まる しちつふ を練習しましょう。

shi chi tsu fu Shi Chi Tsu Fu

shi chi tsu fu Shi Chi Tsu Fu

たぶん、ローマ字で自分の名前を書きたいと思うことでしょう。くわしいルールがありますが、まずは表を見ながら書いてみましょう。約束ごとは次回にして…。

小文字で、姓 名 のあたま文字は大文字にします。名前なまえ First name を先、苗字みょうじ Family name を後に。
おもしろばなし：姓が先か、名が先か？どちらも間違いではありません。しかし、英語が世界の共通語となり、欧米人に合わせて「名-姓」と表記している名刺のほうが多いです。しかし、2019年5月21日に政府は「姓-名」の順で表記するよう、都道府県やメディアに通知することを発表しました。河野太郎外相は、安倍晋三首相の表記を「Abe Shinzo」にするよう求め、「習近平 中国（国家）主席とか文在寅（ムンジェイン） 韓国大統領らを（姓-名の順で）表記している報道機関が多いのだから、安倍晋三首相も同様の表記が望ましい」と説明しました。しかし、あまり浸透していなかったようです。したがって、日本人の姓名については、ローマ字表記においても「姓-名」の順（例えば Yamada Haruo）とすることが望ましい。なお、従来の慣習に基づく誤解を防ぐために、姓をすべて大文字とする（YAMADA Haruo）、姓と名の間にコンマを打つ（Yamada, Haruo）などの方法で、「姓-名」の構造を示すことも考えられています。